

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 夢の郷



社会福祉法人 夢の郷

基本理念

1. 人権を守り主体性の尊重に努めます
2. 地域で暮らすための環境整備に努めます
3. 安心と安全の保障に努めます

運営方針

1. 利用者が選択できるメニュー（ハード・ソフト面）を提供します
2. 利用者の生活を見守り柔軟に対応します
3. 利用者主体の事業を推進します

夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせるよう生活支援を行います

目	次	ページ
1	はじめに(平成30年度を振り返って)	1～6
2	事業案内 社会福祉法人夢の郷	7～8
3	行事等実施報告	9
4	実習・ボランティア・介護体験等実習 受入報告	10
5	研修委員会報告	11～13
6	苦情解決委員会	14
7	危機管理委員会	15～17
8	広報委員会報告	18
9	給食委員会報告	19
10	協力医療機関受入結果報告	20～21
11	各事業所報告	
1	法人本部	22～23
2	朝海ハイム	24～26
	・宿泊型自立訓練事業 ・生活介護事業	
3	クローバーハウス	27～28
	・就労継続支援B型事業	
4	いすず工房	29～30
	・就労継続支援B型事業 ・生活介護事業	
5	グループホーム夢の郷 (はるか・あすか・南風荘・朝海ハイムⅡ・城山荘)	31～32
	・共同生活援助事業	
6	あすか	33～34
	・日中サービス支援型共同生活援助事業	
7	アンダンテ	35～36
	・地域生活支援事業(日中一時支援事業) ・特定相談事業	
8	津市障害者相談支援センター	37～38
9	その他の事業等	
	・工賃向上報告書クローバーハウス	39
	・工賃向上報告書いすず工房	40

はじめに（平成30年度を振り返って）

身体・知的福祉に対し遅れがちである精神障がい者福祉について社会福祉法人夢の郷（以下「当法人」という。）は精神障がい者社会復帰施設として平成11年度に開設し、障害者自立支援法により新体制に変わってからも多くの経験を積み、この津圏域において一定の役割を担って来たと自負しています。

このことは関係機関の皆様のご支援や役員・職員の懸命な努力に負うところが大きいです。また地域の方々の多大なご理解と協力によるところが多々あり、今日まで着実に障がい者福祉を実践してまいりました。

当法人は夢の郷の基本理念を次のように掲げています。

障がい者が安心して地域で暮らせるよう生活支援を行います。

人権を守り主体性の尊重に努めます。

地域で暮らすための環境整備に努めます。

安心と安全の保障に努めます。

施設関係者は、いつも基本理念に基づく利用者への支援が求められています。法人設立より20年経過して、はたして基本理念に基づく利用者支援ができているのか、もう一度、検証する時期にきたと思います。

ノーマライゼーションが叫ばれ久しくなりますが、障がい者に対する社会の理解は、いまだ十分に理解が進んでいるとはいえない状況にあります。

昨年の国行政機関を始めとする公的行政機関等による障害者雇用率の偽装等に見られるように、本来、行政は障がい者の社会参加に対する理解促進、完全参加の実現に民間企業等に先駆け積極的に取り組むべき責務があるにもかかわらず、障がい者福祉の所管する厚生労働省においても偽装が行われていたことは非常に残念に思います。

それとともに、障害者雇用では雇用率の達成だけが目的となり、身体障害者が優先的に進み、知的・精神障がい者はなかなか雇用が進んでいないのが現状です。

障がい者理解については、来年のパラリンピック開催でより一層進むことが期待されますが、ただ受け身でいるだけでは決して進展しません。

障害の有無にかかわらず誰もが住みやすい地域・環境にするためには、障がい当事者だけでなく障がい者支援の多くの関係者達が大きな声を挙げ続ける必要があります。

また、急速に変化する現代社会の中で、変化に対応することが困難な方が増えているのが現状です。特に中高年の引きこもりの方が数10万人に達していると言われております。当法人がその受け皿となりその方々の社会復帰の手助けが少しでも出来れば幸いです。

昨年、第5期津市障がい者計画が発表されました。これによりますと総人口は年々減少していくのに対し高齢者人口は大きく伸びて高齢化社会がより一層進んでいます。それとともに精神障がい者の手帳取得率も大きく伸びています。増加率では（H25→H

29) 130%になり、社会環境の急変の中で心の悩みや社会適応に課題を持つ方々が増えていると思われます。

また、計画の基本方向では「だれもが共生できる地域社会の実現社会を目指しながら」と謳われています。しかし現実のゆとりのない社会からはなかなか共生意識が生まれにくいのではないのでしょうか。一人ひとりの暮らしに目を向け、きめ細かく働きかけることが何より大切です。単に福祉財政の効率化のための施策では真の目的達成は無理ではないかと思われます。

当法人として、今後も行政・地域住民と手を携えて、障害を持つ人たちの暮らしを支え豊かにしていくことが求められています。

この1年夢の郷の活動を総括的に振り返ってみると多くの課題があります。

1 職員の確保とその資質向上について

「福祉は人なり」とよく言われます。施設サービスを向上するためには職員確保とその資質の向上は欠かすことができません。しかし、全国的な求人難のおり、特に東海地方は求人率が特に高く、ハローワークに依頼してもなかなか人員を確保するのが困難な状況であります。

また当法人のパート職員賃金については、近年大幅にアップする県最低賃金との差が少なくなり、他社ではすくない賞与を付与する規定があるものの、求人募集時の賃金額には反映されないため他社の賃金額に比して低く見られがちです。このため応募者が少なく人員補充にも大変な状況があります。特に資格を持った専門職種や若年層の確保が困難となっています。しかしサービスの低下をきたさないため、各事業所のチームワークにより職員一同で努力しているのが現状です。

また日頃の業務に追われ研修も限られた人のみの参加となりがちになり職員確保とともに大きな課題となっています。

2 利用者の確保について

宿泊型自立訓練事業所「朝海ハイム」（定員 10 人）、共同生活援助事業所「グループホーム夢の郷」（4 か所合計定員 22 人）、日中サービス支援型共同生活援助事業所「あすか」（定員 6 人、短期入所 1 人）等暮らしの場は十分活用されていますが、就労支援 B 型事業所「クローバーハウス」（定員 20 人）、「いすゞ工房」（定員 20 人、生活介護多機能型 8 人）、生活介護事業所「朝海ハイム」（定員 20 人）はいずれも定員に満たしておらず現在ゆとりがあります。

津市障がい者相談支援センターとの連携や情報共有はあまりなく、病院や他の相談支援センターからの利用紹介が多くありました。

今後も当法人が持つ専門機能を関係機関に周知し、障がい者のために発揮していくことが求められています。

3 共同生活援助事業について

地域での当たり前の生活を少しでも豊かにするため「暮らし」を視点に利用者一人一人に適した生活の質の向上のための支援を進めてきました。

8月から共同生活援助事業所であった「あすか」を利用者の高齢化・重度化に対応する日中サービス支援型共同生活援助事業所に変更しました。同時に短期入所を開始しました。

また、城山荘（定員4名）は、平成29年4月から休止していましたが平成30年10月から新たな場所で民間新築住宅を借り上げ再開しました。

幅広く利用者にあったサービスの展開には、まだまだ課題は多くありますが今後も求められていくものです。

4か所のグループホームへの支援体制についても、夜間の訪問を行い安否確認を行うよう強化しました。

4 三重県精神障がい者地域移行・地域定着支援事業（ピア啓発モデル事業）の受託について

県より本事業を受託し、地域移行への取り組みや啓発事業として『お笑いころのサミット』を吉本の芸人とわかば作業所とがコラボして上演しました。県総合文化センターフレンテみえの多目的ホールを会場に開催し、立見者がでるほどの盛況でした。県立昴学園高校でも再演しました。

「精神障がい、あるある川柳」を募集したところ全国から52名131句の投句があり、レベルの高い作品が多くありました。

受託事業の企画や準備に大変でしたが、PNCの会（当事者の会）が大活躍してくれました。多くの事業所や団体とコラボできて意義のある事業でした。

自立支援協議会ワーキング事業の一環として社会資源見学会を実施しグループホーム等、福祉サービス事業所の知識を広める活動を行いました。

5 クローバーハウスのパン事業について

就労継続支援B型事業所「クローバーハウス」ではパンの製造販売と受託作業を行っています。

(1) パン部門で開設以来大きな比重を占めていたパンセットは、世帯構成の変化や他社との販売競争の中で年々減少している傾向にあります。

新しいパン部門の柱として、災害備蓄に最適な缶詰パンの拡大を目指しています。

しかし、平成29年3月に津市役所に納品した缶詰パンの一個から平成31年2月にカビが発生していたことが判明しました。缶蓋の締付けが緩かったことが事故の要因のようです。

津市から通報を受け、早速被害者宅に謝罪に伺うとともに他の缶詰パンを回収し、

津保健所始め津市関係機関に事故報告をするとともに関係者・機関に謝罪を行いました。

再度このような問題が発生しないように製造工程でのチェック体制を確立するとともにマニュアルを見直し危機対応のマニュアルも新たに作成しました。

(2) 工賃向上コンサルタント派遣事業について

本事業を県に就労継続支援 B 型事業所「クローバーハウス」と「いすず工房」が申込みを行い採用されました。

(株) インサイトによるセミナーを 9 月・10 月受講し、11 月からは事業所訪問による現場視察・面談等を通じて、利益をあげながら効率のよい経営改善策や、売れる商品・新商品開発等による工賃向上方法等について専門的な指導を受けました。

6 社会福祉充実計画について

平成 29 年度決算における社会福祉残高は 1,204 万円でした。平成 30 年度社会福祉充実計画として、入札の結果①照明設備更新事業（施設の LED 化）を 5,263,488 円②朝海ハイム 2 階居室・クローバーハウスパン工場の空調設備更新事業を 2,392,200 円③職員スキルアップ事業（職員研修の受講費用等）を実施しました。

この結果、照明設備の LED 化により光熱水費の減少が見込まれます。また、電力・ガス経費の節減を目指し中部電力（株）に一本化しました。

7 地域における公益的な取り組み

社会福祉法の改正により社会福祉法人は地域において活動することが求められ規定されました。

当法人では「いすず亭」の持つ専門的な技術と地域性を活用し、地区民生委員の推薦に基づく選ばれた東城山地区在住の 70 歳以上の高齢者を対象に、「ふれあいうどん」の提供を行いました。民生委員の協力により「ふれあいうどん割引券」を月 2 枚お届けしています。この取組みを契機として地域の高齢者同志がふれあい、外出の機会を増やし、仲間作りの一助になるようにと思ひ実施しています。毎月少しずつ利用者が増加しており、高齢者の方々からの評判もよく喜んでいただいていると思っています。

毎年 3 月に開催する「夢まつり」には、来所されたことがない地域の方々の参加が多くあり、当法人がこの地域に根付いていく一助になったと考えています。今後も継続して取組んでいく必要があります。

しかし活動場所である「いすず亭」は、店舗が狭く、座席数が限られており手すりは付けたもののスロープがなく今後の課題となっています。

8 防災計画等について

当法人の職員は、利用者に安全・安心を保障するために、津市より福祉避難所とし

でも委嘱されていますので、自然災害等に対する防災意識、職場・住居の環境整備に対する危機意識を持つとともに、利用者支援時での事故発生防止等に努める責務があります。

当法人では「消防計画」「地震防災対策計画」に基づき宿泊型自立訓練事業所及びグループホームでは防災・防火訓練、地震避難訓練等を毎月実施しています。

また、利用者支援時における事故対応については、「リスクマネジメント実施規程」に基づき、危機管理委員会を開催し事故報告書・ヒヤリハット報告を分析して情報共有・事故発生防止に取り組んでいます。

(1) 消防計画について

各事業所に消防防災設備の配置図を備え置き、委託専門業者が年2回消防用設備等の点検業務を実施しています。この点検により、不良箇所と判定された設備等については早急に改善、修理等を行っています。また、階段、通路等には、避難所支障となる物品等を置かないこと、喫煙について建物内はすべて禁煙として屋外の2箇所のみとなっています。また厨房等の火気使用設備器具については使用前後の点検、安全確認等を実施・指示しています。

(2) 地震防災対策計画について

各事業所単位で自主的に防災・避難訓練等を実施しています。

(3) 非常事態等への対応について

非常事態の場合に備えて職員緊急連絡網をその都度更新して整備しています。

特に夜間利用者が宿泊するグループホーム、朝海ハイム(宿泊型自立訓練事業所)については、別途連絡網を整備しています。

防犯の観点から各グループホーム、朝海ハイム(宿泊型自立訓練事業所)には防犯カメラ、防犯センサーライトを設置して安全・安心の暮らしを進めています。

(4) 利用者支援時の事故対応について

関係職員の連携を密にして事故発生情報を迅速に共有し、対応を協議しています。事故報告書を作成し危機管理委員会に諮り事故発生原因や防止策を検討しています。

9 夢の郷将来構想の進捗状況について

夢の郷将来構想【2017年度～2022年度】については、平成29年3月に策定しましたが、本年度もアンダンテの新築移転は出来ませんでした。新グループホーム城山荘については民間住宅の借り上げにより実施出来ました。

また、当法人の支援により民間住宅を借り、希望した利用者の一人暮らしを叶えることができました。精神的・物質的に支援し「地域での当たり前の暮らし」を支えていくことが少しですが出来てきたと自負しています。

当法人南側にある隣接県有地については、将来構想に掲げるアンダンテの新築移転の実現するため、また、効率的な業務運営のためにも必要不可欠の土地であると認識し、是非とも取得したいと考えています。

このため本年 2 月に三重県総務部管財課長を含む関係者と面談し、当法人として隣接県有地の取得希望・要望を示し申し入れを行いました。しかし、県からは公平性の主旨から現在では優先的に取り扱うことが難しいとのことでありました。

今後は、高齢者・児童福祉など障がい区分にとらわれない多機能な施設【共生型】サービスについても地域のニーズを図りながら、前向きに検討する時期を迎えています。

「アンダンテ」

●一般相談支援事業

- ・計画相談
地域生活をコーディネートし、自分らしい生活へのプランを提案します。

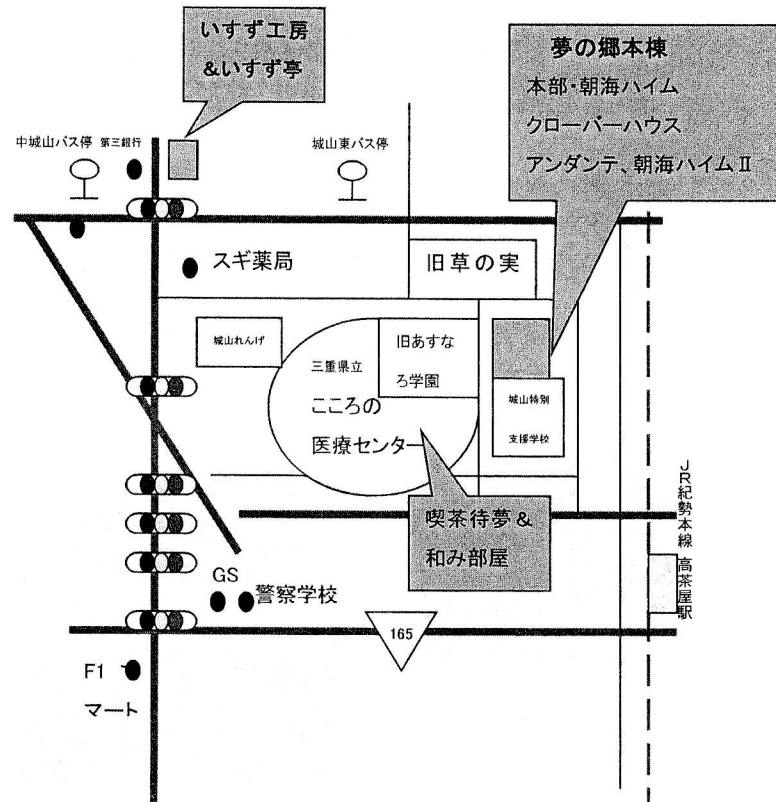
●日中一時支援事業

- ・憩いの場、余暇活動の機会、食事、入浴等のサービスの提供を行います。

●津市精神障がい者相談支援センターサテライト

精神障がい者の相談支援及び地域移行や地域定着のための相談支援を行います。

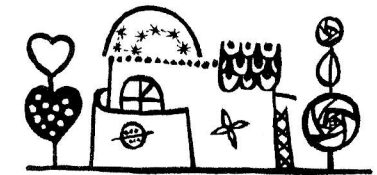
☎ 059-269-5666



三交バス津駅より警察学校行 「城山東」下車 徒歩3分
 三交バス津駅より警察学校行 「中城山」下車 徒歩7分
 JR紀勢本線 「高茶屋駅」下車徒歩18分
 伊勢自動車道 久居I.C 車で15分

事業案内

社会福祉法人 夢の郷



津市城山一丁目8番16号

TEL 059-238-0303
 FAX 059-238-0304

夢の郷は、障がい者が安心して地域で暮らせるよう、生活支援を行います

クローバーハウス

●就労継続支援B型事業

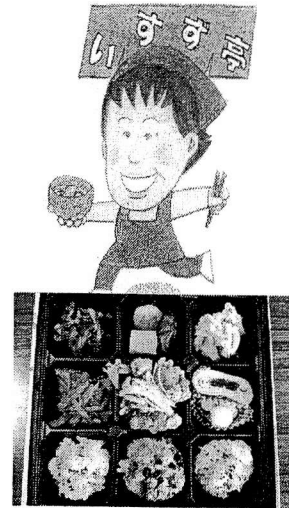
パン製造・販売

受託作業

☎ 059-234-5939

Fax 059-238-0304

缶詰パン



いすず工房

●就労継続支援B型事業

(製麺・販売・受託作業)

いすず亭(うどん屋)

喫茶待夢(こころの医療センター内)

●生活介護事業

☎ 059-234-0020

Fax 059-234-0155

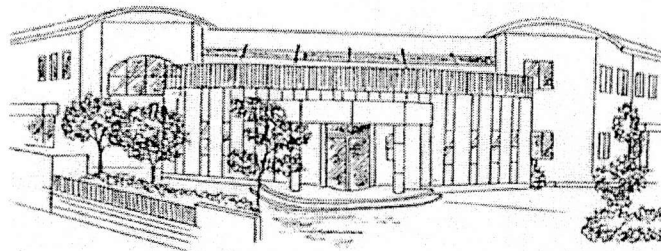
あさみ

朝海ハイム

●宿泊型自立訓練事業

●生活介護事業

和み部屋(こころの医療センター内)



○利用につきましては、福祉サービス受給者証が必要です。
居住地の市町福祉課にご相談ください。

【包括型グループホーム 夢の郷】

はるか・南風荘・朝海ハイムⅡ

【日中サービス支援型グループホーム】

あすか

4
平成30年度 行事等実施報告

項目 月	行事等	災害訓練	健康管理・衛生関係	会議
4月		18 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医講和	2 辞令交付
		27 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	18 高茶屋診療所医師講和	5 運営会議
5月	就労支援事業所交流会	17 防災地震訓練(グループホーム)	天の川歯科医講和	3 運営会議
		24 防災避難訓練(朝海生活介護)	16 高茶屋診療所医師講和	17 監事監査
		25 防災避難訓練(朝海ハイム宿泊)		津市自立支援協議会 25 理事会
6月	三家連総会	15 避難訓練(いすず工房)	天の川歯科医講和	7 運営会議
	三重県連精障害者事業所連絡会総会	21 火災訓練(グループホーム)	20 高茶屋診療所医師講和	13 定時評議員会
	28 三家連志摩阿児大会	26 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		津市精神保健福祉連合会
7月	県障害福祉サービス事業者等集団指導	2 本体・グループホーム消防設備点検	天の川歯科医講和	5 運営会議
	13 三重県精神保健福祉協議会総会	19 防災台風訓練(グループホームホーム)	18 高茶屋診療所医師講和	14 三重県連精障害者事業所連絡会
	25 こころ医療センター夏祭り	25 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		18 津市自立支援協議会 26 津市精神障害者連合会
8月	14 地域盆踊り大会	16 防災台風訓練(グループホーム)	2 職員定期健康診断	2 運営会議
	15 県連精障害者事業所連絡会例会	28 火災避難訓練(朝海ハイム宿泊)	3 天の川歯科医講和	21 計画相談検討会議
			9 利用者定期健康診断	29 ゆかいな仲間コンサート
			15 高茶屋診療所医師講和	30 津市精神障害者連合会
9月	1 ぶどう狩り	13 防災訓練(いすず工房)	7 天の川歯科医講和	6 運営会議
	17 県連精障害者事業所連絡会例会	19 火災訓練(グループホーム)	19 高茶屋診療所医師講和	12 城山地区懇談会
	27 第51回三重県精神保健福祉大会	21 避難訓練(グループホーム)		22 スポーツレクリエーション大会
		28 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)		25 理事会
				30 津市精神保健福祉連合会
10月	3 高茶屋小学校社会見学	2 防災地震訓練(朝海ハイム生活介護)	天の川歯科医講和	2 自立支援協議会
		5 防災訓練(いすず工房)	17 高茶屋診療所医師講和	4 津市精神保健福祉連合会
	19 三重県社会福祉大会	13 火災訓練(朝海ハイム生活介護)	18 職員定期健康診断	4 運営会議
	27 しつこ祭	11 火災訓練(グループホーム)	28 利用者定期健康診断	14 理事会・評議員会
		26 避難訓練(朝海宿泊 火災報知器)		18 津市自立支援協議会
11月	14 三重県精神保健福祉大会	8 防災訓練(いすず工房)	1 天の川歯科医講和	1 運営会議
	16 県精神事業所連絡協議会例会	15 火災訓練(グループホーム)	15 高茶屋診療所医師講和	14 三重県精神保健福祉審議会
	19 みかん狩り	15 避難訓練(朝海宿泊 防災グッズ点検)	28 インフルエンザ予防接種	5 津市精神保健福祉連合会
	26 みんなネット兵庫大会			20 三重県連精障害者事業所連絡会
12月	22 クリスマス会	21 火災訓練(グループホーム)	5 インフルエンザ予防接種	6 運営会議
	29 すき焼き忘年会	26 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	13 天の川歯科医講和	11 理事会
			19 高茶屋診療所医師講和	20 評議員会
1月	12 新年交流会	17 防災訓練(グループホーム)	11 天の川歯科医講和	7 運営会議
	14 お笑いサミット	24 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	16 高茶屋診療所医師講和	25 三重県連精障害者事業所連絡会
		29 避難訓練(いすず工房)		
2月	1 豆まき	14 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医講和	7 運営会議
		20 地震防災(朝海(生活介護))	20 高茶屋診療所医師講和	22 三重県精神保健福祉審議会
		25 避難訓練(朝海ハイム宿泊)		22 三重県連精障害者事業所連絡会
3月	1 夢まつり	11 避難訓練(いすず工房)	8 天の川歯科医講和	7 運営会議
		21 防災訓練(グループホーム)	20 高茶屋診療所医師講和	13 理事会
		25 火災避難訓練(朝海ハイム宿泊)		21 評議員会

平成30年度 実習・研修・見学・ボランティア受入 実績報告

1 実習の受入

職種等	学校	実人員	日数
看護師	津看護専門学校	25	6
	三重大学医学部看護学科	44	10
	三重県立看護大学	29	7
合計	3箇所	98	23

2 研修の受入

機関・施設名	実人員	日数
岐阜県各務原市知的障害者相談員協議会	11	1

3 見学の受入

機関・施設名	実人員	日数
NPO法人 暖家	3	1
津市立高茶屋小学校3年生	89	1
滋賀県障がい者家族会のぞみ会	23	1
合計	115	3

4 ボランティアの受入

ボランティア内容	実人員	日数
清掃を通してのアンダンテとの交流	1	12
レク活動を通しての利用者の余暇活動支援	5	5
合計	6	17

平成30年度「研修委員会」報告

外部研修

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
1	5	16	津市所会社計画相談支援連絡協議会 総会	津市所会社計画相談支援連絡協議会	2
2	5	21	ダイバーシテみえ トークイベント	ダイバーシティ社会推進課	2
3	5	30	社会資源見学会 実行委員会	自立支援協議会 ワーキンググループ	1
4	6	2	障害福祉サービス事業所 職員等基礎研修会	三重県社会福祉協議会	1
5	6	7	三重県精神保健福祉会 家族研修	さんかれん	1
6	6	14	ワンコインコンサート	三重県総合文化センター	1
7	6	14	第1回 津市障がい者計画相談支援連絡協議会 研修会	津市障がい者計画相談支援連絡協議会	4
8	6	15	第1回 精神障害者地域移行・地域定着会議	精神障害者地域移行	1
9	6	19	第1回津市地域自立支援協議会 地域移行ワーキンググループ (精神保健福祉班)	津市地域自立支援協議会	1
10	6	20	障がい福祉サービス事業者等集団指導	三重県障害福祉部	4
11	6	21	第3回 PNC会議	PNCの会	2
12	6	28	第43回 三家連精神保健福祉大会	三家連	1
13	7	3	社会福祉法人役員及び幹部職員研修会	三重県社会福祉協議会	1
14	7	7	こころの県民公開講座「身近なうつ病を理解しよう」	三重県立こころの医療センター	1
15	7	13	津市障がい者計画相談支援連絡協議会 研修会	津市障がい者計画相談支援連絡協議会	1
16	7	18	新任職員研修過程Ⅱ-C	三重県社会福祉協議会	1
17	7	19	新任職員研修過程Ⅱ-C	三重県社会福祉協議会	1
18	7	24	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県障害者相談支援センター	1
19	7	25	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県障害者相談支援センター	1
20	7	27	精神障害者地域移行・地域定着会議	精神障害者地域移行・地域定着協議会	1
21	7	31	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県障害者相談支援センター	1
22	8	1	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県障害者相談支援センター	1
23	8	2	会計担当管理者集中講座	経営協	1
24	8	7	第4回 PNC会議	PNCの会	1
25	8	22	都道府県セミナー 前期	三重県社会福祉協議会	1

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
26	8	23	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会 研修会	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会	3
27	8	23	三精連 研修会	三精連	2
28	8	27	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県障害者相談支援センター	1
29	8	28	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県障害者相談支援センター	1
30	9	19	三重県相談支援従事者現任研修	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会	2
31	9	20	三重県相談支援従事者現任研修	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会	2
32	9	21	三重県相談支援従事者現任研修	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会	2
33	9	28	三重県工賃向上セミナー	株式会社インサイト	1
34	10	19	第2回 津市自立支援協議会	自立支援協議会	1
35	10	19	三重県工賃向上セミナー	株式会社インサイト	1
36	10	31	三重県サービス管理責任者等研修	三重県障害者相談支援センター	2
37	10	31	第67回 三重県社会福祉大会	三重県社会福祉協議会	1
38	11	1	三重県精神保健福祉会 全体会議・家族研修会	三重県精神保健福祉会	1
39	11	9	甲州東海ブロック 家族会精神保健福祉促進研修会	全国精神保健福祉連合会	2
40	11	10	甲州東海ブロック 家族会精神保健福祉促進研修会	全国精神保健福祉連合会	2
41	11	26	第11回 みんなネット 兵庫大会	全国精神保健福祉連合会	3
42	11	27	第12回 みんなネット 兵庫大会	全国精神保健福祉連合会	3
43	11	28	津市障がい者計画相談支援従事者事業連絡協議会 研修会	津市障がい者計画相談支援従事者事業連絡協議会	2
44	11	29	第2回 津地域精保福祉連絡協議会(こころ津むぎねっと)	津地域精神保健福祉連絡協議会	1
45	11	30	第4回 こころの元気研修会	こころの医療センター	1
46	12	6	サービス管理責任者研修 就労分野	三重県障害者相談支援センター	1
47	12	7	サービス管理責任者研修 就労分野	三重県障害者相談支援センター	1
48	12	14	精神科医療と福祉の連携研修会	三重県障害者相談支援センター	1
49	1	23	強度行動障害支援者養成研修	三重県障害者相談支援センター	1
50	1	29	三重県経営協 都道府県セミナー 後期	三重県社会福祉協議会	1

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
51	2	7	三重県精神保健福祉会 家族研修会	三重県精神保健福祉会	1
52	2	7	精神保健福祉士実習指導者講習会	日本福祉大学	1
53	2	8	精神保健福祉士実習指導者講習会	日本福祉大学	1
54	2	19	第5回 津地域自立支援協議会 地域移行ワーキンググループ	津地域自立支援協議会	1
55	2	25	三重県障害者虐待防止・権利擁護研修	三重県社会福祉協議会	1
56	2	25	三重県障害者虐待・権利擁護研修会	三重県障害者相談支援センター	1
57	3	5	労務管理研修会～働き方改革～	経営協	1
58	3	8	津市障がい者計画相談支援従事者事業連絡協議会 研修会	津市障がい者計画相談支援従事者事業連絡協議会	1
59	3	12	地域移行先の資源調査	就労継続支援B型事業所 天使の家	1
				合 計	82

内部研修

No	実施日		研修名	研修講師	人員
	月	日			
1	3	19	障害者虐待防止研修 全事業所	岡田	10
	3	21	障害者虐待防止研修(アンダンテ・朝海ハイム・GH)	河戸	10
	3	22	障害者虐待防止研修(クローバーハウス)	河戸	5
	3	25	障害者虐待防止研修((いすず工房職員)	河戸	6
				合 計	31

平成30年度 「苦情解決委員会」報告

1 苦情集計

		件数	
8月	5日	内容	クローバーハウスの2階のトイレが汚い。
		改善策	トイレの汚れについては、毎日の掃除時に点検して、気が付いたら直ぐ掃除を行っています。
	内容	和み部屋の販売。物も言わず、むつと立っている。利用者に対しきつい言葉掛けが見られた。	
	改善策	お客様、利用者様の対応について職員に聞き取りを行った。職員全員に接客研修を行いました。9月2回	
	内容	昼食のコーヒーが薄かった。	
	改善策	提供前には検食を行い利用者様に満足していただける食事提供に努めます。	
	内容	クローバーハウスの作業所が暑くて仕事が出来ない。	
	改善策	室温が28度または、蒸し暑い時はブラインドを閉めエアコンと扇風機を併用し利用者様に働きやすい環境を提供できる様努めていきます。	
	内容	カレーライスの量を減らしてほしい。	
	改善策	今後、量については聞き取りを行い本人様が希望される量に調整し皆様に満足していただける様、努めます。	
9月	1	内容	クローバーハウス作業所の給料(8月分)明細書を10日にもらえなかった。
		改善策	当日お休みの場合は、次に出勤された時にお渡しします。
合計	6		

2 苦情委員会報告

第1回	5月1日	苦情申し出窓口設置についての通知
第2回	7月31日	苦情委員会
第3回	7月31	苦情委員会
第4回		
第5回	8月31日	苦情委員会検討5
第6回	9月3日	苦情検討(5)
第7回		
第8回	9月30日	苦情検討1
第9回		
第10回	10月31	苦情検討0
第11回		
第12回	11月30日	苦情検討0
第13回		
第14回	12月28日	苦情検討0
第15回		
第16回	1月 31日	苦情検討0
第17回	2月 7日	運営委員会報告
第18回	2月 27日	苦情検討0
第18回	3月7日	運営委員会報告

平成30年度「危機管理委員会」報告

1 委員会開催

1	4月2日	各事業所火元確認表配布 各事業所火元責任者の確認
2	5月14日	通所送迎マニュアル作成と変更について O157検品
3	6月1日	年間計画 防災、防火避難訓練計画
4	6月30日	ヒヤリハット(2)及び事故報告(13)協議・検討 食中毒予防について
5	8月24日	災害等情報伝達文について 宿泊・グループホーム防災備蓄品点検
6	9月27日	服薬マニュアル作成と周知について ヒヤリハット(2)及び事故報告(6)協議・検討
7	10月18日 26日	健康診断受診について 利用者 69名 職員 56名 夜勤者(2回) 8名
8	11月7日 14日	インフルエンザ対策と予防接種について 利用者 67名 職員 31名
9	12月7日	風邪の予防と感染症対策 ヒヤリハット(1)及び事故報告(6)協議・検討
10	1月 11日	研修「業務の標準化と業務手順書の活用」 マニュアルの点検
11	3月 20日	ヒヤリハット(5)及び事故報告(9)協議・検討 研修「事故発生後の処理・リスクへの対応」
12	3月 25日	30年度 反省 統計とまとめ 次年度への引継ぎ

2 ヒヤリハット

月	件数	内容	
6月	2	食事の提供	GH・宿泊の夕食準備で容器や分量を間違い、再度やり直して準備が遅れた。
		改善策	新しい業務に就くときにははすぐに対応することが難しい。覚えるまでは指導者が付き添う。
		車の事故	利用者さんの同行支援の折、駐車場で隣の車にドアがぶつかった。
		改善策	同行支援の折には、できるだけ空いている駐車場を利用する。
7月	1	熱中症対策	暑い日に、帽子をかぶらず日中活動事業所へ通所した。
		改善策	利用者さんを日中活動に送り出す際には、必ず見守りと声掛けを行う。
9月	1	車の事故	駐車場から出る際に門にかけたチェーンに接触し、車のフロント部分に傷をつけた。
		改善策	公用車運転の時には、危機意識をもって集中して運転するよう心掛ける。
10月	1	器具の破損	台風の被害で、いすず亭のダクトボルトが外れ落下しそうになった。地域住民から知らせてもらった。
		改善策	台風通過後は、必ず見回り点検を行う。
1月	2	紛失	詰所からUSBを持ち出し業務終了後筆箱の中になくことに気づいた。カレンダーの磁石に付いていた。
		改善策	個人情報も含まれるため、持ち出すときにはケースに入れて確認する。
		業務ミス	ベーコンポテトディニッシュの材料がなかった。
		改善策	材料は早めに注文する。材料入荷が間に合わないときには違うパンに変更する。
2月	2	業務ミス	アプリコットディニッシュの材料がなかった。
		改善策	パンのメニューに入っているものは、メニューが決まり次第発注を行う。
		業務ミス	グループホーム、宿泊の皆様へ提供した食パンが窯伸びせず小さいパンになった。
		改善策	充分生地を発酵させてから焼く。
3月	1	転倒	段ボール作業中に、ふたの部分に当たった利用者さんがバランスを崩して後ろ向きに転んだ。
		改善策	常に整理整頓をして、大きなものを運ぶときには作業場の導線を確保する。
合計	10		

3 事故報告

月	件数	内容	
4月	3	送迎トラブル	送迎待ち合わせ場所に利用者さんの姿が見えなかったため、通過してしまった。
		改善策	非常時の連絡先と方法を確認し、送迎マニュアルの整備をする。
		異物混入	パン(オレンジボール)に1mmくらいの金属片が混入
		改善策	工房及び仕分室の証明を明るくして異物の発見を容易にする。LED照明に変えて明るくなった。
		盗難	夜間駐車場に置いた公用車のウインカーカバーが外されていた。修理後また外された。
		改善策	こまめに車両点検をするとともに、管理会社にも巡回を依頼した。2回目に他の車と交換した。
5月	2	品質管理	成形後冷凍していたパンが冷凍負けをして発酵せず、不完全な商品となった。
		改善策	個人情報も含まれるため、持ち出すときにはケースに入れて確認する。
		個人情報管理	個人記録を机の上に置き忘れて気付かなかった。事故は2回目である。
		改善策	個人ファイルの取扱いについて再度研修をし、個人情報に関する意識付けを図る。
6月	8	転倒	雨降りを知らせようとしたが、勘違いをしてあわてて転んだ。
		改善策	段差があるので視力が低下している人にわかりやすいようトラテープを張った。
		無断外出	サービス提供中にスタッフに告げず買い物に出かけた。
		改善策	利用者の見守り体制の確保と、必要な人への見守り等を通しての所在確認を行う。
		品質管理	パン(玄米チーズ)の原材料の配合を間違い、質の悪いパンを販売してしまった。
		改善策	休憩時間をしっかり確保し、集中して作業にあたる。納品の検品等の業務を減らした。
		転倒	眠気があり、階段で転倒し右ひざを階段の角に打ち付けた。湿布をしてGHIに報告した。
		改善策	事故が起きた時は速やかに報告し、必要と思われる時には医療機関で診てもらおう。
		品質管理	納品したパンの一部がつぶれていると指摘を受けた。
		改善策	パンの発酵状態や焼き方、袋入れのタイミングの確認。2段を限度にケース詰めをする。
		品質管理	菓子パンの日付を間違い、500枚分を貼り直した。
		改善策	業務に関しては、必ず事業所の指示に従い、ミスを避ける。
		異物混入	パン袋の中から、米粒大のプラスチック片が見つかり、指摘を受けた。
		改善策	すべてのプラスチックケースとコンテナの破損状況を確認した。確実な検品を行う。
7月	1	火傷	普段は着用の腕カバーをせず調理中、炒め玉ねぎを拾おうとしてガスコンロで手にやけどを負った。
		改善策	半袖の調理服の場合は必ず腕カバーを付けて作業を行う。
8月	2	怪我	スライサーで野菜を調理中に誤って指を切り血が止まらなかった。
		改善策	調理器具は、決められた使用方法で使う。スライサー使用時には軍手をはめる。
		無断外出	アンダンテ利用中に施設の外に出て行った。捜索願を出した。
		改善策	家族とも対策を話しあった。携帯電話を持ってもらい、所在が確認できる体制をとった。
		品質管理	パンセットに指定の菓子パンが入っていなかった。2回目。菓子パンの袋があいていた。
		改善策	熱シールをした後の確認を徹底する。パンセットは配達用袋のチャックをする前に点検をする。

9月	3	破損	食材運搬のため荷台を開ける際に、アトレー後部ゲートハンドルが割れた。
		改善策	公用車の定期点検を行い、劣化した場所を早めに見つけて修理する。
		品質管理	保育園から注文のコッパンの袋が開いていてクレームをもらった。
		改善策	以前にもシーラーがあいていて改善の方針が出たが、再度点検する体制を整える。
		品質管理	パンの袋の中身を間違えて、次の工程に渡してしまった。
		改善策	仕事中は作業に集中し、私語は慎むこと。
10月	3	破損	スチール製のロッカーのカギを開ける際に、鍵と部品が本体から抜けてしまった。
		改善策	器具は無理せず丁寧に扱うこと。
		送迎トラブル	利用者さんに古い開設カレンダーを渡してしまい、送迎場所で長時間待たせてしまった。
		改善策	開設カレンダーは一人ひとり氏名を記入して確実に手渡すこと。
		車の事故	始業点検の際に車のフロント部分の傷を発見した。
		改善策	公用車使用時には、事前に行先と氏名を記入してからキーを受け取るように変更した。
11月	3	車の事故	リフト前をバックで駐車する際にタイヤに傷を負ったが、すぐに報告しなかった。
		改善策	普段乗り付けない車の場合は、特に注意して運転する。傷の大小にかかわらずすぐに報告する。
		車の事故	公用車に左前横、左後横、右後横、3か所の傷があるが、報告はなかった。
		改善策	左右の確認、道幅の考慮をして、無理な運転はしない。公用車を運転しているという自覚を持つ。
		無断外出	利用者さんがサービス提供中帰ってしまった。本人はスタッフに言ってから帰ったという。
		改善策	利用者さんへの見守りと、職員間のコミュニケーションをよくする。
12月	2	車の事故	リフト前をバックで運転していて、花壇に接触した。
		改善策	思い込みで運転せず左右の確認を行う。
		納品ミス	コッパンの数を間違えて納品し、再度お届けした。
		改善策	種類別に袋入れの段階で数を点検する。
1月	2	無断外出	遠くへ行きたい気持ちがあり、明け方に無断でお年玉をもって名古屋まで遊びに行ってしまった。
		改善策	定時の所在確認だけでは無断外出を止められない。利用者さんの調子が悪いときは、早めに受診をす
		車の事故	なれない車を運転して、花壇ブロックに接触した。
		改善策	公用車それぞれの特性を考慮して運転する。駐車場内は徐行する。
2月	4	異物混入	パン(メロンパン)に異物が付着していた。その場で返品となった。
		改善策	鉄板の清掃を行う。そのうえで袋入れの時と仕訳時2重のチェックを行う。
		転落	入浴後、洗濯物を取り入れる時にベッドから落ちて膝を床に打ち付けた。
		改善策	洗濯物は、いつもやる仕方を取り入れる。できないことは職員に相談してから一緒にする。
		転倒・転落	朝ベッドから起床するときに転んで唇を切った。受診し4針縫合した。
		改善策	スリッパがすべりやすいのでく上靴に変える。
		品質管理	2年前に納品した缶詰めパンから、カビが発生していた。子供さんが食べて途中で気が付いた。
		改善策	缶詰めパンの封入時に(巻締)完全な真空状況になっていなかった。今後はスケールにて点検をする。
3月	1	車の事故	駐車場をバックで運転していて、花壇に接触した。
		改善策	業務は分担し、焦らずゆとりをもって運転するようにする。トラテープと枠を作りわかりやすくなった。
計	34		

平成30年度「広報委員会」報告

広報委員会は、夢つうしん発行に向け6回会議を開催し掲載記事の検討を行いました。また、夢まつり2019開催に向け5回会議を開催し、催物や販売物品等について検討・協議を行いました

- 1 夢つうしん42号を平成30年9月に発行し、関係機関等へ250部あまり配布しました。年間2回発行を計画していましたが、1回しか発行できませんでした。

【主な掲載内容】

- ①いすず亭及び「ふれあいうどん」等の御案内
 - ②日中サービス支援型共同生活援助事業所「あすか」について
 - ③三重県精神障がい者地域移行・地域定着支援事業（ピア啓発重点モデル事業・ピアサポート事業）について
 - ④一人暮らしの方へのインタビュー
 - ⑤絵画の寄贈について
 - ⑥草の実リハビリテーションセンター（特別支援学校草の実分校）、あすなろ学園の解体工事について
- 2 夢の郷のホームページの更新について
 - (1) 夢つうしん42号を掲載しました。
 - (2) 平成29年度の決算関係書類、事業報告書、財産目録、現況報告書、法人定款、役員報酬基準、監事監査報告書を掲載しました。
 - 3 年賀状について
日頃からお世話になっている関係者及び関係機関等に送付しました。
 - 4 地域交流
 - (1) 平成30年10月3日午前に高茶屋小学校3年生が地域の福祉施設見学に来所されました。この時の感想を書いたお礼の手紙を12月にいただきました。
 - (2) 夢まつりを平成31年3月1日(金)午前10時から午後2時の間開催しました。200人余りの方が来場いただきました。「ふれあいうどん」で開催を知られた新顔のお客様が多数お越しいただきました。
特に午後1時からのイベント「夢の音楽会」ではゲストの段上姉妹によるピアノとバイオリンの生伴奏で大いに盛り上がり、高評価を得ました。
三重ふるさと新聞に掲載していただきました。

平成30年「給食委員会」報告

1 総括

各事業所より利用者のニーズを聴きとり、嗜好に合った食事を提供した。
全職員にアンケート調査を活用して、バラエティー豊富な食事提供に努めた。
各事業所検食者からの意見を聞き取りして、改善を行った。
厨房内衛生管理に努め、食中毒予防と異物混入の防止に努めた。
食中毒に関する研修を行い、厨房の衛生管理への意識付けを行った。
調理機器の改善や整理整頓により厨房内の整備を行った。
各事業所より利用者のニーズを聴きとり、メニューの改善を行った。
咀嚼や嚥下が困難な人への対応を検討し、食べやすい食事が提供できた。

2 協議内容

前月の昼食・夕食検食結果について
次月のメニュー・行事メニュー検討について
各事業所より提案された意見を活かした改善について
その他、緊急の課題について

3 開催状況と検討内容

月	日	検討内容
4	25	GH・宿泊での夕食及び朝食サラダのバリエーションについて
5	23	給食メニューの作成担当 事前のメニュー打ち合わせ 調理器具の点検
6	21	冷蔵・冷凍庫の食材の管理 0157検品開始
7	17	朝食のパンを利用者ニーズにより変更 フルーツ類の提供
8	18	行事に対応した昼食 苦手な食材の訴えへの対応について
9	18	鶏肉が食べられない人への代替献立の検討
10	18	朝食メニューの改善について 食物アレルギー対応について
11	18	クリスマスメニューについて
12	18	年末年始メニューの検討、夕食への追加副菜への提案
1	18	高齢化による嚥下障害や葉の悪い利用者さんへ配慮した調理
2	18	夢まつり準備とおもてなしメニュー、コッペサンドの試食会とお試しメニュー
3	18	GH・宿泊朝食メニューの変更 31年度事業への引継ぎ

平成 30 年度 協力医療機関訪問実施報告

1 みえ医療生活協同組合高茶屋診療所

1 定期訪問

宮崎医師及び看護師等による健康に関する講話を聴くことで利用者・職員が知識を深めた。利用者も健康に関して意識も高まり月 1 回の講和では多くの質問が出されるようになった。

2 月別講和テーマと参加人数 *第 3 水曜日開催

月/日	講話テーマ	参加者数(利用者・職員)
4/18	健康に関するフリートーク	2 3
5/16	健康的な食事について	2 3
6/20	熱中症予防のために	2 3
7/18	食中毒について	2 2
8/15	便秘について	1 8
9/19	肥満について	1 7
10/17	風邪について	2 5
11/29 12/5	インフルエンザ予防接種	1 9
12/19	ノロウイルスの予防	2 5
1/16	肩こりについて	1 8
2/20	インフルエンザについて	2 2
3/20	花粉症	2 1
合計		2 5 6

2 協力医療機関 天の川歯科

1 定期訪問

- 1 福島歯科医師の定期診療
- 2 毎月の定例歯磨き指導
- 3 歯の衛生管理に関する講話、昼食後の歯磨き習慣ができた。
- 4 毎日、昼食前に嚙下体操を行っている

2 月別講和テーマと参加人員、及び歯科治療数

月	講話		歯科治療	
	テーマ	参加者数	来所回数	治療者延数
4	口腔ケア（歯磨き指導）	16	4	15
5	口腔ケア（歯磨き指導）	16	4	14
6	口腔ケア（歯磨き指導）	17	4	20
7	口腔ケア（歯磨き指導）	18	4	9
8	義歯型どり 歯磨き指導	18	4	9
9	嚙下体操実技	17	4	6
10	歯磨き指導	15	3	9
11	歯ブラシの持ち方指導	19	4	22
12	義歯装着時の食事		3	15
1	嚙下体操実技	17	4	21
2	歯周病のケア		3	18
3	歯磨き模型による指導	18	3	15
	合計		41	173

平成30年度 「法人本部」事業報告

1 評議員及び役員(理事・監事)について

- ・評議員（定数7名）は、全員が継続就任していただきました。
（任期：平成29年4月1日～4年後の平成33年6月開催の定時評議員会終結の時まで4年間）
- ・役員(理事6名・監事2名)は、8名全員が継続就任していただきました。
（任期：平成29年6月21日～平成31年6月開催の定時評議員会終結の時まで2年間）

2 理事会の運営について

理事及び監事出席のもと下記の月日で開催し、議案等を審議していただきました。

第1回（平成30年5月25日）

- ・平成29年度事業報告について
 - ・平成29年度収支決算報告について
 - ・監事監査結果報告について
 - ・社会福祉充実計画について
 - ・定時評議員会開催日、議案等について
- 全議案が承認されました。

第2回(平成30年9月25日)

- (報告事項)・平成30年度事業報告(4月～8月)について
- ・社会福祉充実計画の進捗状況について
- (決議事項)・経理規程改正について
- ・日中サービス支援型生活援助事業「あすか」の予算編成報告事項及び決議事項が承認されました。

第3回(平成30年12月11日)

- (報告事項)・平成30年度事業報告(9月～11月)について
- ・社会福祉充実計画の進捗状況について
- (決議事項)・第一次補正予算について
- ・評議員会の開催日、議案等について
- 報告事項及び決議事項が承認されました。

第4回(平成31年3月13日)

- (報告事項)・平成30年度事業報告(12月～2月)について
- (決議事項)・平成30年度第二次補正予算について
- ・平成31年度事業計画について
 - ・平成31年度当初予算について
 - ・経理規程の改正について
 - ・パートタイム職員就業規則改正について
 - ・平成31年度管理者について
 - ・第3回評議委員会の開催月日、議案等について
- 報告事項及び決議事項が承認されました。

3 評議員会の運営について

評議員、理事及び監事出席のもと下記の月日、議案等を審議していただきました。

第1回(定時評議員会 平成30年6月13日)

(報告事項)・平成29年度事業報告について

(決議事項)・平成29年度決算について ・監事監査結果について

・社会福祉充実計画について

報告事項及び決議事項が承認されました。

第2回(平成30年12月20日)

(報告事項)・平成30年度事業計画(4月～11月)について

・社会福祉充実計画の進捗状況について

(決議事項)・第一次補正予算について

報告事項及び決議事項が承認されました。

第3回(平成31年3月21日)

(報告事項)・平成30年度事業計画(4月～11月)について

(決議事項)・平成30年度第二次補正予算について

・平成31年度当初予算について

・平成31年度当初予算について

報告事項及び決議事項が承認されました

4 本部事業について

1 理事会、評議員会の円滑な運営に努めました。

2 運営会議を毎月原則として第一木曜日に開催し、情報共有等に努めました。

3 事業所ごとの利用状況や収支、法人全体の収支等の経営状況等を把握した資料を、運営会議や理事会等に提供しました。

4 夜間支援員(グループホームあすか、宿泊型自立訓練事業所朝海ハイム)の固定勤務体制を、2箇所勤務できるよう勤務体制を見直しました。

5 地域生活を送るための住宅整備・環境整備に努めました。

(GHあすかを包括型から日中サービス支援型に変更、城山荘を新築民間住宅で再開、一人暮らし希望者の民間アパート入居を支援)

6 夢の郷将来構想について、法人本棟の隣接県有地取得について県具体的な管財課に優先的取得を要望しました。

7 ハローワークで求人募集を行い職員確保に努めました。

8 採用した職員が、短期日で辞めてしまうことが複数回ありました。

平成30年度 「朝海ハイム」 報告

宿泊型自立訓練事業（定員10名）

生活介護事業（定員20名）

1 総括

① 宿泊型自立訓練事業

- ・体験利用を重ねることで、病院からの地域移行が進んだ。
- ・宿泊型自立訓練の結果、グループホームへの移行や地域の単身生活が可能になった。
- ・訓練終了後の住まいについて検討していく。

② 生活介護事業

- ・毎日の入浴や決まった時間の食事と服薬で、安定した清潔な暮らしが継続できた。
- ・サービスを受けることにより地域での暮らしが継続できた。
- ・軽作業（クッキー・和み部屋販売）への参加で社会参加ができた。
- ・医師による講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。
- ・訪問歯科受診にて医師からの指導と講話を受け歯磨き習慣ができてきた。

2 年間延利用者（開設日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宿泊型 自立訓練	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	開設365日
	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	5	延実数117人
	240	248	257	217	278	286	237	235	297	261	226	263	延3,045人
生活介護	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	開設269日
	19	19	17	17	17	16	16	17	18	17	17	17	延実数207人
	308	307	280	322	346	317	338	352	376	292	227	278	延3,743人

平均利用者数 宿泊型自立訓練 8.9人 生活介護事業 14.7人

3 地域別利用者数（30年4月1日～3月31日）

	津市	明和	松阪	尾鷲	熊野	名張	志摩市	大紀	伊勢	計
宿泊型 (人)	13	1	2	1	1	1				19
生活介護 (人)	18		1	1	1		1	1	1	24

4 年齢別利用者数

	20～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	65～	計 実数
宿泊型 自立訓練	2	2	2		1	1	3	2	6		19
生活介護	1	1	1	2	2	2	3	5	4	3	24

5 サービス終了後の結果

	継続	グループ ホーム	自宅	アパート	就労B型	他施設	入院	その他	計 (実数)
宿泊型自立訓練	9	6		2			2		19
生活介護	16		1				6	1	24

6 職員体制

	宿泊型自立訓練事業	生活介護事業
管理者兼務 サービス管理責任者	1名（常勤）	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤） 1名（非常勤）	3名（常勤）
夜勤支援従事者	4名	
地域移行支援員	1名（非常勤）	
医師・看護師		2名（非常勤）

7 日課

	宿泊型自立訓練事業 (スタッフ勤務時間)	生活介護事業
サービス提供時間	夜間従事者 17:00～23:00 3:30～8:30 生活支援員 地域移行 8:30～17:30	8:30～15:00
訓練内容 (サービス内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊による自立訓練 ・ 朝夕食事提供 ・ 地域移行支援 ・ 健康管理 ・ 生活相談 ・ 生活支援 ・ 夜間防災体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事・入浴・排せつ介護 ・ 日常生活上の支援 ・ 軽作業（クッキー） ・ 地域交流（和み部屋） ・ 創作活動、余暇活動 ・ 相談 ・ 健康管理・指導

8 その他の事業

- ・ 各圏域障害者相談支援センターとの連携
- ・ 各圏域障害者相談事業所との連携

9 行事

- ・ 津地域精神障害者連合会交流・地域での清掃活動等参加 ぶどう狩り・みかん狩り
- ・ 病院とのピアサポート交流、御殿場海開き、地域のイベント、しつとこ祭、夢まつり

10 災害訓練

- ・ 自立訓練事業所、生活介護事業の日中防災・防火訓練 年3回

- ・夜間を想定した避難訓練(防災・防火) 12回

1.1 健康管理

- ・定期検診(X線検査含む)と検便
- ・生活介護事業 月～金バイタルチェック実施(高茶屋診療所、天の川歯科と連携)
- ・宿泊型自立訓練事業 生活習慣病のチェック及び指導
- ・インフルエンザ対策としてうがいと手洗いの励行
- ・インフルエンザの予防についての講話
- ・熱中症対策についての講話
- ・歯みがき指導

1.2 事業所内研修

宿泊型自立訓練

- ① 職員の責務、現状業務について
- ② リスクマネジメント
緊急対応について(夜間)
感染症対策・インフルエンザ、ノロウイルスの対応について伝達
- ③ 接遇研修の伝達
- ④ 虐待防止対応の伝達

生活介護

- ① 新任研修 リスクマネジメント・個人情報保護
業務について
- ② 障害者差別解消法について
- ③ 接遇・利用者への対応 苦情対応
- ④ 危機管理・緊急時の対応
職員健康管理

1.3 苦情解決

宿泊型自立訓練

- ① 苦情 無
- ② 意見 無

生活介護

- ① 苦情 1
- ② 意見 無

平成30年度 「クローバーハウス」 報告

就労継続支援B型事業（定員20名）

1 総括

- ・ パンの製造と販売を通して、地域交流ができた。
- ・ 目標とした時給485円が達成できた。
- ・ みえ地域応援ファンド事業により、クッキー缶が完成した。
- ・ 津市松菱物産展に出展し広域的な販売宣伝ができた。
- ・ 材料費の高騰が目立ち、菓子パンの売上げが減少した。
- ・ ルート配達・対面販売・パンセット配達それぞれ減少傾向にあり見直しが必要。
- ・ 津市の助成金もあり、自治会・行政機関から缶詰パンの注文を受けることができた。
- ・ 就農福の連携事業により新商品の開発に取り組むことが出来た。

2 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者人数	21	22	23	23	22	23	23	24	24	22	21	22	270
延利用日数	413	448	443	464	446	409	460	452	441	430	385	450	5,241
延就労時間	1722	1875	1821	1851	1770	1619	1787	1758	1715	1710	1586	1835	21,049

3 地域別利用者数

市町名	津	玉城	志摩	尾鷲	松阪	計
人数	23	1	1	1	1	27

4 年齢別利用者数

	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～68	計
人数	1	1	3	3	4	3	2	1	9	27

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	2名（常勤）
生活支援員	2名（常勤）
目標工賃達成指導員	4名（非常勤）

6 作業種目

- ① パン・缶詰パンの製造販売・ルート配達
- ② クッキー・焼菓子等の販売
- ③ 工場受託作業
- ④ イベント参加等

7 日課

作業時間：9：00から15：00

作業日：事業所カレンダーによる開設 原則月曜から金曜日

年間269日

8 主な販売・イベント・地域交流

○定期販売先（敬称略）

イムラ（井村屋）・嬉野SA上り・農業屋みのり久居店・松阪店・白山社会福祉協
議会・マックスバリュー城山店・垂水店・津北店・三重県庁（県厚生棟）・心豊苑
ぎゅうとら・河芸道の駅・朝津味・ベルファーム・にこまま（イオン鈴鹿）

○イベント・地域交流

津市物産まつり 暮らし助け合い コープみえ総大会 城山れんげまつり
メーカー&ウォークラリー こころの医療センター夏祭り 交通安全フェスティバ
ル 三家連精神保健福祉大会、高茶屋診療所まつり 南が丘ふれあい祭
新町フェスタ 三重矯正展 イムラもったいない屋 南郊公民館文化祭
城山特別支援学校文化祭 高洲町教育集会所文化祭 高茶屋小ふれあいまつり
精神保健福祉三重県大会 津まつり 県立盲学校文化祭 ふるさと三重物産展
榊原病院文化祭 みかん狩り 津高・津東高文化祭 ガーデンまつり

9 災害訓練

事業所合同訓練・火災通報訓練
防災訓練

10 健康管理

定期検診（X線検査含む）
インフルエンザ接種 蔓延防止のための対策
検便

11 その他の事業

三重県工賃向上計画推進事業

12 事業所内研修

- ① 新人研修
理念と苦情処理
- ② 虐待防止研修
- ③ 工賃向上セミナーアドバイザー派遣事業

13 苦情解決

苦情 3
意見 5

平成30年度 「いすず工房」 事業報告

就労継続支援B型事業（定員20名）生活介護事業（定員8名）

1 総括

①就労継続支援B型事業

- ・工賃アップにより経済的自立への見通しがついた。（時間給 平均工賃508円）
- ・仲間同士で作業を教えあい協力して働く体制ができ、チーム力が高まった。
- ・弁当箱組み立てや箸入れ袋折り等の作業になれて、新たな作業の導入ができた。
朝海ハイム生活介護事業と連携して、和み部屋を運営した。
喫茶、うどん店、和み部屋での接客により、マナーの向上が図れた。
弁当に地元の食材を使用して、地域貢献が出来た。
うどん店の営業により、地域交流が図れた。
デイサービスへのランチ提供により地域の高齢者との交流ができた。

②生活介護事業

- ・バイタルチェック・服薬管理により、安定した健康な暮らしが継続できた。
- ・仲間との交流や余暇活動への参加で、豊かな暮らしができた。
- ・一貫張り作成・ビスの並べ替え作業等で社会経済活動への参加ができた。
- ・医師による講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。

2 年間延利用者（開設日数）

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者数	18	19	19	19	18	19	19	17	16	16	17	17	214
延利用数	350	385	360	384	356	355	368	322	315	314	299	344	4,152
延就労時間	1718	1873	1759	1873	1786	1790	1918	1653	1636	1542	1542	1782	20,962

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者数			3	3	4	4	5	5	5	6	6	6	47
延利用数	147	141	137	121	120	115	128	114	135	124	120	112	1,514

平均利用者数 就労継続支援B型事業 17.3人 生活介護事業 5.9人

3 地域別利用者数

	津市	明和	松阪	志摩			計
就労継続（人）	21	1	1	1			24
生活介護（人）	6						6

4 年齢別利用者数

	20～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	65～	計
就労支援	1	1	2	2	1	1	2	2	2	10	24
生活介護							1	4		1	6

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼務生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤1名）
生活支援員	4名（常勤4名）
目標工賃達成指導員	2名（非常勤2名）
医師・看護師	2名（非常勤）

6 日課

	就労継続B型事業	生活介護事業
サービス提供時間	8:30~15:30	8:30~15:00
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食・弁当事業 ・ 喫茶・飲食店 ・ 製麺事業 ・ 工場受託作業 ・ 和み部屋 ・ 三重県工賃向上計画推進事業 ・ デイサービスへの食事提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事・入浴・排せつ介護 ・ 日常生活上の支援 ・ 軽作業 ・ 地域交流 ・ 創作活動、余暇活動 ・ 相談 ・ 健康管理・指導

7 行事

- ・ 津地域精神障害者連合会交流
- ・ 地域での清掃活動等参加
- ・ ぶどう狩り
- ・ しつとこ祭
- ・ 夢まつり

8 災害訓練（年間）

防火訓練 2回、地震防災訓練 1回

9 健康管理

定期検診（X線検査含む）、インフルエンザ接種、検便、血圧測定
生活介護は毎日のバイタルチェック

10 事業所内研修

1) 新任研修

- ① 職員の責務、現状業務について
- ② リスクマネジメント
緊急対応について（夜間）

2) 継続研修

- ① 統合失調症 正しい理解と対応
- ② 三原則を守って食中毒を防止
- ③ 障害者虐待防止法の理解と対応
- ④ 熱中症予防と対策

12 苦情解決 ①苦情 2件 ②意見 0

平成 30 年度 介護サービス包括型グループホーム夢の郷

事業報告（はるか・南風荘・朝海ハイムⅡ・あすか・城山荘）

1 総括

- ① 朝夕の支援体制について、夜間支援従事者による支援体制の継続で安心な暮らしが出来た。
- ② 健康管理・服薬支援・金銭管理等の必要な生活支援を行った。それにより、緊急入院や服薬忘れが減少した。
- ③ 夜間緊急時の携帯電話で、緊急連絡体制作りや夜間・早朝の各ホームの巡回を行い、適切な時間での眠前薬の服薬を行った。同時に利用者の安否確認を行った。
- ④ 定期的な通院及び緊急受診同行等、医療機関との連携により健康管理を行った。
- ⑤ 就労・日中活動事業所との連携・情報の伝達等を行い、暮らしの安定を図った。
- ⑥ 月 1 回の防災訓練、個人用の防災用品の配備により、防災への意識に繋がった。
- ⑦ 「あすか」は、8 月 1 日に日中サービス支援型共同生活援助事業に変更した。
- ⑧ 「城山荘」は、10 月 1 日に新住所、民間借家で再開した。

2 年間利用者数

	定 員			3 月末 現 員	延利用者数	平均実利用者数
	4/1	8/1	10/1			
はるか	8	8	8	7	2,500	6.8
南風荘	5	5	5	5	1,745	4.8
朝海ハイムⅡ	5	5	5	5	1,775	4.9
あすか	7				705	5.8
城山荘			4	4	727	4.0
計	25	18	22	21	7,452	20.4

3 地域別利用者数

	津	伊勢	松阪	志摩	尾鷲	玉城	大紀	計
人数	21	1	1	2	1	1	1	28

4 区分による利用者数

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
2	564	1.6	8
3	3,627	10	49
4	1,443	4	19
5	1,696	4.7	23
6	122	0.40	2
計	7,452	20.4	100

5 年齢別利用者数

	～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～	計
人数	1		1	5	3	6	3	9	28

6 職員体制

職名	配置状況
管理者	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
世話人	12名（常勤2名）非常勤（10名）
生活支援員	4名（常勤4名）非常勤（2名）

7 防災対策

- すべてのグループホームに自動火災警報装置、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置。
- 非常用防災用品の備蓄（個人防災グッズ）
- 地震避難訓練 6回 防火防災訓練 6回

8 事業所内研修

新任研修 ①グループホームの概要について

継続研修

- ①虐待研修 ②接遇研修 ③みんなネット研修伝達

9 苦情解決

苦情 0件 意見 0件

平成 30 年度 日中サービス支援型共同生活援助事業所

事業報告（あすか）

1 総括

- ① 8月1日に利用者の高齢化、重度化に対応する日中サービス支援型共同生活援助事業を定員6人で開始した。
建物がバリアフリー構造であるので、車椅子利用者・高齢者・下肢筋力低下利用者に対応が出来た。
- ② 短期入所（ショートステイ）を定員1人で併設し、緊急宿泊サービスを提供した。
- ② 看護職員の常駐支援強化を図り、健康な暮らしへの意識が高まった。
- ③ 健康管理・服薬管理・金銭管理等で生活支援の充実を行った。
朝夕のバイタル測定、定期薬の手渡し服薬支援、生活物品購入、整理整頓を行った。
- ④ 夜間勤務者による緊急対応と見守りを含む利用者へのきめ細かな支援によりグループホームでの安心な生活の場を提供できた。
- ⑤ 通院同行・緊急受診時には各医療機関や訪問看護師、PSW等との連絡連携により健康管理を行った。

2 年間利用者数

あすか	定員	延べ利用者数	平均実利用数
日中サービス支援型	6	1,456	6
短期入所	1	116	0.5

短期入所利用者 4名利用

3 障害区分による利用者数

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
4	1,096	4.5	75
5	271	1.2	19
6	92	0.4	6
計	1,456	6.0	100

4 地域別利用者数

	津	松阪	尾鷲	伊勢	亀山	計
人数	4	1	1	1	1	8

5 年齢別利用者数

	～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～60	61～65	65～	計
人数						2	4	2	8

6 職員体制

職名	配置状況
管理者	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
世話人	2名（常勤）
生活支援員	1名（常勤） 2名（非常勤）
夜間支援従事者	5名（非常勤）

7 防災対策

- ・ 自動火災警報装置、スプリンクラー、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置
- ・ 非常用防災用品の備蓄（個人防災グッズ）
- ・ 地震避難訓練 6回 防火・防災訓練 6回

8 事業所内研修

- ①日中サービス支援型共同生活援助事業の概要
- ②障害者虐待対応について
- ③接遇とマナーについて

平成30年度 「アンダンテ」 報告

1. 実施事業内容

(1) 地域生活支援事業(日中一時支援事業)

- ・地域で暮らす障害者の日中の見守り支援と相談支援
- ・食事、入浴・服薬支援及び必要な人への送迎
- ・余暇活動支援(体操・ティータイム・大正琴・みかん狩り・ハートソングの集い)
- ・地域交流(自治会溝掃除・盆踊り・関係機関文化祭参加)

年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用延日数	456	459	463	470	484	487	480	494	511	479	467		5,250

1日平均利用者 15.7人

契約市町別

	津	亀山	松阪	玉城	明和	伊勢	志摩	大紀	尾鷲	名張	熊野	計
利用者数	46	1	2	1	1	1	2	1	2	1	1	59

(2) 特定相談事業(計画相談)

- ・津市自立支援協議会本会及びワーキングに企画・参加し、事業所間ネットワークが広がった。
- ・新規利用者の計画相談を受け、障害福祉サービスに繋いだ。
- ・障害福祉事業所と連携し、地域の暮らしが継続できた。
- ・病院からの相談も多く、地域移行が進んだ。
- ・地域割や本人の希望による、他の相談支援事業所への異動もあった。
- ・新しい相談事業所も増えて、系列の事業所を利用することでサービス終了となった。
- ・包括支援センターとの連携で、介護保険への移行がスムーズに出来た。
- ・津市 名 他市 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規・更新	13	11	8	13	9	7	5	17	11	10	11		115
モニタリング	10	16	11	12	17	13	13	13	8	12	15		140

2. 関係機関との連携

(1) 津市地域自立支援協議会

本会会議

津市障害者計画・第5期津市障害者福祉計画策定参画

地域移行ワーキンググループ(精神保健福祉班)

くらしワーキンググループ

(2) 津市精神保健福祉連合会

総会・研修会参加

スポレク大会の企画・当事者とともに参加

(3)三重県精神保健福祉会

三重県精神保健福祉志摩大会
甲州東海ブロック研修高山大会参加
みんなネット神戸大会参加
定期例会・家族研修会参加

(4)三重県精神保健福祉協議会

精神保健福祉大会参加

(5)三重県精神保健福祉審議会

会議における意見交換と検討
三重県精神障害者福祉事業所協議連絡協議会への報告
三重県との意見交換会事前打ち合わせと開催

(6)三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会

定例会・総会・学習会と研修会参加
事業所間の連携と情報共有
三重県精神保健福祉審議会参加

(7)津市計画相談事業所連絡協議会

学習会・研修会・交流会への参加

3. 防火・防災訓練

年3回実施

4. 事業所内研修

(1)新任研修

- ①日中一時支援事業について(業務と利用者支援)
- ②リスクマネジメント
- ③食中毒と感染症対応について

(2)継続研修

- ①福祉サービスにおけるマニュアルの活用
- ②障害者虐待防止
- ③接遇と利用者対応

5. 苦情解決

苦情 0件

平成30年度「津市障がい者相談支援センター」報告

1 総括

- 1) 相談支援の必要な人への定期訪問や巡回等により地域で安心して暮らせるようになった。
- 2) 相談支援の結果、情報提供を行い関係機関連携し、福祉サービスの利用へ繋がった。
- 3) 地域自立支援協議会への参加により、ネットワークが広がった。
- 4) 就労希望者には、就労・生活支援センターとの連携を図り、その人にあった就労支援を行った。
- 5) 津市における虐待対応について予防と早期発見のための支援を行った。

2 事業の内容

- ①福祉サービスの利用援助
- ②社会資源を活用するための支援
- ③社会生活力を高めるための支援
- ④ピアカウンセリング
- ⑤権利の擁護のために必要な支援
- ⑥専門機関の紹介
- ⑦地域自立支援協議会の運営
- ⑧専門的な相談支援等を要する困難ケースへの対応
- ⑨津市障がい者虐待防止センターに関する業務
- ⑩障がいを理由とする差別の解消の推進
- ⑪精神障がい者の地域移行・地域定着支援のコーディネート業務
- ⑫社会資源見学会実行委員会の運営

3 年間利用者数

津市障がい者相談支援センター業務統計

月	内容											計	方法						計
	サービス利用等	障害や病状	不安情緒	健康・医療	家族人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他		訪問	来所	同行	電話 メール	会議	関係機関	
4	95	10	140	48	28	5	0	11	2	6	0	345	14	29	5	192	6	99	345
5	145	24	177	27	43	20	8	4	0	0	0	448	16	27	3	270	6	126	448
6	112	14	187	44	41	14	7	2	0	2	0	423	23	26	9	262	4	99	423
7	111	18	209	38	19	16	4	2	0	0	0	417	17	30	14	239	8	109	417
8	95	12	159	31	22	28	7	1	1	0	0	356	23	23	7	186	3	114	356
9	86	9	149	40	11	15	12	8	0	0	0	330	11	14	3	182	15	105	330
10	88	17	166	30	9	1	15	5	1	0	0	332	17	11	5	201	9	89	332
11	78	9	142	73	39	5	10	5	3	0	0	364	22	11	7	199	3	122	364
12	75	11	132	51	23	13	19	14	2	0	0	340	11	14	5	199	6	105	340
1	51	20	137	53	5	5	22	7	1	0	0	301	18	19	6	157	2	99	301
2	73	21	105	33	22	6	33	5	5	0	0	303	12	23	9	144	5	110	303
3	53	10	122	39	10	6	7	12	1	0	0	260	15	16	14	134	12	69	260
計	1062	175	1825	507	272	134	144	76	16	8	0	4219	199	243	87	2365	79	1246	4219

津市障がい者相談支援センター サテライト業務統計

月	内容											方法							
	サービス利用等	障害や病状	不安情緒	健康・医療	家族人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他	計	訪問	来所	同行	電話 メール	会議	関係機関	計
4	19	12	34	4	6	1	2	3	6	3	2	92	3	24	0	45	3	17	92
5	9	5	16	4	6	1	3	0	2	0	1	47	0	7	0	37	0	3	47
6	5	1	13	1	1	1	0	1	3	0	3	29	1	5	0	16	4	3	29
7	14	3	9	0	6	2	1	0	1	0	1	37	0	4	0	26	2	5	37
8	24	10	33	0	11	1	1	8	7	0	4	99	0	12	1	71	1	14	99
9	2	3	26	1	7	0	1	1	7	0	2	50	1	6	3	36	1	3	50
10	18	9	23	5	13	0	1	6	55	0	58	188	0	39	51	41	2	55	188
11	12	2	14	0	5	1	2	2	6	0	2	46	0	11	2	24	1	8	46
12	11	5	10	1	3	1	1	2	62	0	4	100	0	39	28	20	2	11	100
1	10	4	16	0	5	0	0	2	56	0	3	96	0	32	1	25	30	8	96
2	9	3	15	0	3	0	2	1	7	0	2	42	0	9	2	24	0	7	42
3	18	9	27	1	6	0	2	7	63	0	44	177	0	92	2	44	6	33	177
計	151	66	236	17	72	8	16	33	275	3	126	1003	5	280	90	409	52	167	1003

平成30年度 工 賃 向 上 報 告 書

クローバーハウス

1. 概要

主な生産活動内容	パンの製造販、パンセット仕分けに係る作業、地域企業より部品組立の受託作業
----------	--------------------------------------

○利用者数

定員	20名	延利用者数	269	名
----	-----	-------	-----	---

2. 工賃実績

○工賃総額 10,258,433円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	H29	H30	
平均工賃実績額	455円	485円	時給
月額工賃実績額	35,870円	37,931円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ①誰もができる受託作業と単価の高い作業の提供。
- ②5S推進による効率の良い働きやすい職場環境の整備。
- ③クッキー製造機器の導入による大量生産体制。
- ④缶詰パン販売促進のための積極的な営業活動。
- ⑤利用者が共にパン製造に関われる仕組み作り。

具体的な取組み

- ①部品作業受託先事業所に作業の安定確保を依頼した。
- ②ミーティングや部署会議において、現状の売上や販売管理費・原材料費等の状況改善を諮った。
- ③イベント等には1個当たり単価の高い商品の販売を増やした。
- ④津市・松阪市内の高校への昼食用パンの対面販売や、施設への出張販売を行った。
- ⑤研修に参加し、コンサルタントからの提案や助言を受け、クローバーハウス全体で共有した。

課題等

- ①パンの売り上げ金額が年々減少し、パンセットのルート配達も最盛期の半数に落ち込んでいる。
- ②缶詰めパンの販売先開拓をしているが目標に達していない。
- ③事業推進のためには職員掛けでなく、パンの製造に利用者さんの参加が必要である。

平成30年度 工 賃 向 上 報 告 書

いすゞ工房

1. 概要

主な生産活動内容	製麺とうどん店での接客・喫茶接客・弁当給食に係る作業・和み部屋運営・地域企業より部品組立の受託作業
----------	---

○利用者数

定員	20名	延利用者数	214名
----	-----	-------	------

2. 工賃実績

○工賃総額 11,792,632 円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	H29	H30	
時給実績額	506円	508円	時給
月額工賃実績額	47,297円	49,760円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ① 季節感のある弁当モデルメニューと顧客名簿の作製をし、計画的に事業を進める。。
- ② 各作業の担当及びサブ担当者を決め、責任ある業務の遂行を行う。
- ③ タイム顧客の要望を取り入れランチメニューに変化をつける。
- ④ 作業の整理と作業が途切れなく提供できるよう計画的に受注をする。
- ⑤ 利用者全員がどの作業にも取り組めるよう、作業工程を細分化する。

具体的な取組み

- ① 顧客に満足してもらえるよう、季節感のある弁当の提供をした。
- ② 受託作業のミスをなくし、効率よく働けるよような職場環境を整えた。
- ③ 利用者が飽きないように、給食委員会以外の職員にもアンケートの協力を依頼した。
- ④ 作業終了後の検査等で労働強化にならないよう、作業種目について分担をした。。
- ⑤ 写真やマニュアルの活用で作業工程をわかりやすく示した。

課題等

- ① 利用者一人ひとり家族やグループホーム等と連携を行い、体調管理と暮らしの支援を行う。
- ② 手狭な作業場のため、常に5Sを推進し利用者・職員の安全の確保に努める。
- ③ 給食・弁当メニューに季節感を取り入れ、マンネリ化しない様に変化をつける。
- ④ 作業終了後の検査等で職員の労働強化にならないよう、業務の整理と分担を図る。
- ⑤ 高齢者デイケアの給食提供のマニュアル化と人員体制を整える。